



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 6293 URL <http://www.nisseijushi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 荻原 英俊

TEL 0268-82-3000

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日

配当支払開始予定日

2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	19,477	5.2	803	54.9	848	54.1	547	61.0
2019年3月期第2四半期	20,536	1.4	1,781	2.1	1,848	2.3	1,404	5.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 269百万円 ( 80.2%) 2019年3月期第2四半期 1,359百万円 ( 9.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	27.39	26.96
2019年3月期第2四半期	70.29	69.30

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	54,016	33,773	62.1
2019年3月期	56,841	33,860	59.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 33,551百万円 2019年3月期 33,681百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		20.00	30.00
2020年3月期		15.00			
2020年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	14.6	1,600	55.6	1,650	55.4	1,150	58.9	57.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	22,272,000 株	2019年3月期	22,272,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,284,385 株	2019年3月期	2,284,385 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	19,987,615 株	2019年3月期2Q	19,987,618 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦の影響および中東情勢の不安リスク等から、不透明な状況が継続しております。わが国経済におきましては、雇用、所得の改善等から回復基調で推移いたしました。

当社グループが所属する射出成形機業界におきましては、国内において需要は堅調に推移しておりますが、海外においては米国および中国市場を中心に需要が減少し、先行きは不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループは、長期的観点からの成長戦略や業績目標を見据え、2026年3月期を最終年度とする「フューチャーデザイン2026」の策定を進めると同時に第64期（当連結会計年度）を初年度とする第三次中期経営計画を策定し事業展開を推し進めてまいりましたが、第64期の計画値を大きく下回りました。当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、主力である射出成形機の販売が米国での自動車関連からの需要が低調であったこと等から、売上高合計は194億7千7百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。製品別売上高につきましては、周辺機器売上高が12億4千8百万円（同3.2%増）、部品売上高が26億9千7百万円（同2.7%増）、金型等売上高が14億1千5百万円（同58.6%増）となりましたが、射出成形機売上高が141億1千5百万円（同10.7%減）と減少いたしました。

利益面につきましては、円高の進行による利益の減少およびアジア地域での競争激化や米国での売上減少により営業利益は8億3百万円（前年同四半期比54.9%減）となりました。また経常利益は8億4千8百万円（前年同四半期比54.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億4千7百万円（同61.0%減）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

## ① 日本

自動車関連を中心に堅調に推移したことから、売上高（外部売上高）は114億8千万円（前年同四半期比13.0%増）となりましたが、射出成形機の販売額に対して利益が大きく減少したことからセグメント利益は6億9千5百万円（同24.1%減）となりました。

## ② アメリカ地域

自動車関連等の需要が低調であったことから、売上高（外部売上高）は33億2千7百万円（前年同四半期比34.3%減）、セグメント利益は5千6百万円（同74.4%減）となりました。

## ③ アジア地域

自動車関連およびIT関連等の需要が低調であったことから、売上高（外部売上高）は46億6千9百万円（前年同四半期比12.1%減）、セグメント利益は2億8千5百万円（同7.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産・負債および純資産等の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ28億2千4百万円減少し、540億1千6百万円となりました。主たる増加要因は、仕掛品の増加9億3千3百万円ならびに商品及び製品の増加8億4千6百万円であり、主たる減少要因は、現金及び預金の減少37億3千6百万円および受取手形及び売掛金の減少13億2百万円ならびに未収入金の減少4億3千2百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ27億3千8百万円減少し、202億4千2百万円となりました。主たる減少要因は、支払手形及び買掛金の減少22億4千8百万円および未払法人税等の減少2億4千5百万円ならびに長期借入金の減少1億9千8百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8千6百万円減少し、337億7千3百万円となりました。

## ② 連結キャッシュ・フローの状況

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、△20億1千1百万円（前年同四半期実績は20億5千9百万円）となりました。このうち、キャッシュ・インの主たる要因は、税金等調整前四半期純利益8億4千8百万円および売上債権の減少17億3千7百万円であり、キャッシュ・アウトの主たる要因は、仕入債務の減少額23億5千9百万円およびたな卸資産の増加額19億3千5百万円であります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、△10億1千5百万円（前年同四半期実績は△6億5千3百万円）となりました。このうち、キャッシュ・アウトの主たる要因は、有形固定資産の取得による支出9億1千1百万円および無形固定資産の取得による支出1億4百万円であります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、△6億7千4百万円（前年同四半期実績は△6億6千5百万円）となりました。このうち、キャッシュ・アウトの主たる要因は、長期借入金の返済による支出2億4千3百万円および配当金の支払額3億9千7百万円であります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前第2四半期連結累計期間末に比べ47億2千7百万円減少し84億6千4百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期の業績と今後の見通しを踏まえて、2019年5月10日に公表しました業績予想を修正しました。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

今後におきましては、米国の通商政策の動向および中国経済の低迷等の不透明な状況が予想されますが、当社グループといたしましては、5G通信等のデジタルインフラの整備・普及、海洋プラスチック問題に象徴される環境問題等で当社グループおよび当社製品の重要性が増す中で、更なる需要の拡大に努めてまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,205	8,469
受取手形及び売掛金	10,315	9,012
電子記録債権	621	615
商品及び製品	5,644	6,491
仕掛品	2,470	3,403
原材料及び貯蔵品	6,675	6,697
未収入金	3,124	2,692
その他	522	976
貸倒引当金	△330	△276
流動資産合計	41,250	38,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,028	5,004
機械装置及び運搬具(純額)	1,401	1,399
土地	4,409	4,403
その他	727	1,167
有形固定資産合計	11,567	11,974
無形固定資産	483	537
投資その他の資産		
投資有価証券	1,718	1,580
その他	1,824	1,844
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	3,539	3,421
固定資産合計	15,590	15,934
資産合計	56,841	54,016
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,720	12,472
1年内返済予定の長期借入金	467	421
未払法人税等	470	224
引当金	290	270
その他	2,606	2,605
流動負債合計	18,554	15,994
固定負債		
長期借入金	1,032	833
退職給付に係る負債	3,209	3,176
その他	184	238
固定負債合計	4,426	4,248
負債合計	22,981	20,242
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,477	5,477
利益剰余金	23,515	23,663
自己株式	△1,096	△1,096
株主資本合計	33,259	33,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	510	415
為替換算調整勘定	△116	△296
退職給付に係る調整累計額	28	25
その他の包括利益累計額合計	422	145
新株予約権	178	221
純資産合計	33,860	33,773
負債純資産合計	56,841	54,016

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	20,536	19,477
売上原価	14,230	14,150
売上総利益	6,305	5,326
販売費及び一般管理費	4,523	4,523
営業利益	1,781	803
営業外収益		
受取利息	6	9
受取配当金	117	125
その他	134	116
営業外収益合計	258	251
営業外費用		
支払利息	1	3
為替差損	177	189
その他	12	13
営業外費用合計	192	205
経常利益	1,848	848
税金等調整前四半期純利益	1,848	848
法人税等	443	301
四半期純利益	1,404	547
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,404	547

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,404	547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△34	△95
為替換算調整勘定	1	△179
退職給付に係る調整額	△12	△2
その他の包括利益合計	△45	△277
四半期包括利益	1,359	269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,359	269



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,848	848
減価償却費	407	490
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△161	△45
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△15	△37
受取利息及び受取配当金	△124	△134
支払利息	1	3
売上債権の増減額 (△は増加)	2,041	1,737
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,234	△1,935
未収消費税等の増減額 (△は増加)	662	465
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,412	△2,359
その他	1,751	△639
小計	2,778	△1,600
利息及び配当金の受取額	124	134
利息の支払額	△1	△3
法人税等の支払額	△840	△542
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,059	△2,011
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△567	△911
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△86	△104
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△653	△1,015
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△454	△243
配当金の支払額	△199	△397
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	△665	△674
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	△34
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	755	△3,736
現金及び現金同等物の期首残高	12,436	12,201
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,192	8,464

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	10,159	5,062	5,314	20,536
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,476	22	3,359	10,858
計	17,636	5,084	8,673	31,394
セグメント利益	916	220	307	1,444

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,444
セグメント間取引消去	337
四半期連結損益計算書の営業利益	1,781

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	アメリカ地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	11,480	3,327	4,669	19,477
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,426	100	4,850	12,377
計	18,907	3,427	9,520	31,855
セグメント利益	695	56	285	1,037

## 2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,037
セグメント間取引消去	△234
四半期連結損益計算書の営業利益	803

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。